

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2022
春号

通巻：240号
発行：2022.3.25

特集

みえ市民活動ボランティアセンター **5** 年間の活動

5

We appreciate you!

YEARS

特集

みえ市民活動ボランティアセンター 5年間の活動



2017年4月1日から5年間、みえ県民交流センターの指定管理をNPO法人みえNPOネットワークセンターが務めてきました。今回は指定管理のメインの活動である「みえ市民活動ボランティアセンター」で実施した事業を振り返ります。

※2021年度のみ2022年1月31日までの情報です。



施設の管理運営

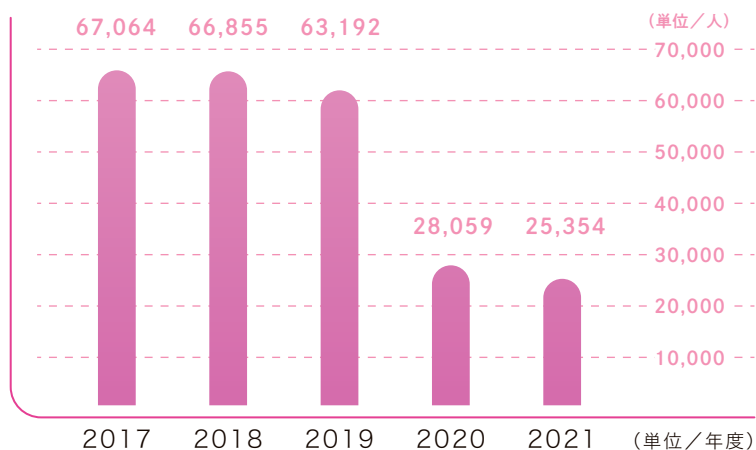
指定管理者はアスト津3階のみえ県民交流センターの施設管理・運営を行っています。

「みえ市民活動ボランティアセンター」はみえ県民交流センター内にあり、三重県内のNPO・市民活動団体への施設や備品の貸出、講座等の企画・実施を行っています。他にもチラシやポスターの掲示、図書資料コーナーの設置、相談対応等を行っています。また、施設改善のために利用者アンケートや外部委員会の開催も行っています。



年間
利用者数

5年間で
合計
250,524人



事業

5年間で105講座を実施し、のべ2,732人の参加がありました。
実施事業の一部を紹介します。



Ⅱ グレードアップセミナー Ⅱ

県内の中間支援組織を対象とした地域の NPO 支援のために必要なスキルを学ぶ講座や、NPO 活動活性化のための講座を実施しました。

- Ⅲ 団体の強みを生かして活動を加速させる！
- Ⅲ 岡山県から学ぶ 1 から始める調査の方法
～地域に必要とされる支援～
- Ⅲ 協働
～コレクティブインパクトを学ぶ～
- Ⅲ 今この時に、中間支援組織は社会をどう変えるのか
- Ⅲ 災害時中間支援組織 12 の役割

Ⅱ NPO 相談 Ⅱ

ボランティアの紹介や NPO に関する相談対応のほか、NPO 入門・法人設立、会計・労務、報告書類作成等をテーマにした講座を開催しました。

- Ⅲ はじめてみよう NPO
- Ⅲ ザクッ！と学ぶ NPO 法人の会計・税務・労務
- Ⅲ 1 から学ぶ NPO 法人の設立方法
- Ⅲ 再確認！ NPO 法人の提出書類

Ⅱ 市民活動・NPO 月間 Ⅱ

三重県では毎年 12 月を「市民活動・NPO 月間」として、県内の中間支援組織や NPO 法人等と連携し、市民活動・NPO の普及・啓発に取り組んでいます。

Ⅱ 協創シンポジウム Ⅱ

行政、企業、大学、NPO 等の協働に関するシンポジウムを行い、協働・協創の意義や価値を学び、協働取組の促進を行いました。

Ⅱ 三重ユース事業 Ⅱ

若者を対象に NPO や市民活動への関心興味を育み、参加を促すための機会を設ける事業を行いました。

- Ⅲ ジビエと若者と未来の関係
- Ⅲ 賢者たちと憂鬱～ NPO の役割と社会環境の変遷～
- Ⅲ 津 × 亀山 U39 交流会
- Ⅲ SNS 安全講座「SNS の落とし穴に注意！」
- Ⅲ ボランティアアンケート

Ⅱ 多文化共生・理解イベント Ⅱ

多文化共生社会の実現に向けて、文化や習慣の違いを知る機会となるイベントや講座を開催しました。

- Ⅲ 妄想世界旅行
(南米編、アジア・オセアニア編、北米クリスマス編、島しょ国編)
- Ⅲ 【多文化 × 災害 × 地域】
分野を超えてオンラインでつながる研修交流会
～常総水害での外国人支援活動をヒントに～

Ⅱ NGO から学ぶ世界情勢 Ⅱ

NGO の活動から、今世界で何が起これ、それに対しどのような行動を起こしているのかを学ぶ講座を開催しました。

- Ⅲ フェアトレードマルシェから学ぶ地域と世界と私の
おいしい関係
- Ⅲ 事例から平和を考える
「ウガンダ元子ども兵社会復帰支援の現場から」
- Ⅲ 変わるグローバルビジネスと人権
～日本企業の取り組みは今～
- Ⅲ エチオピアとガーナとわたし





Ⅱ 書籍の紹介 Ⅱ

図書・資料コーナーで書籍の紹介を行いました。
新刊図書や人気図書は利用者の目に止まりやすい場所へ配架する等の工夫をして 5 年間で合計 851 冊貸し出しました。

Ⅱ 国内外の課題に対する情報収集 Ⅱ

国内外で起こった災害を中心に寄付情報の提供や募金活動を行いました。
5 年間で 7 件 62,016 円を寄付しました。

Ⅱ 市民活動ボランティアニュースの発行 Ⅱ

3 か月に 1 回、市民活動・ボランティアニュース READER を 1 万部発行しました。
2022 年度からは従来の紙媒体に代わり、新たに WEB マガジンを発行する予定です。WEB マガジンの URL 等最新情報はみえ市民活動ボランティアセンター HP で随時報告いたします。

Ⅱ 市民活動団体データの更新 Ⅱ

県内の市民活動センター・社会福祉協議会・行政の協力を得て、県内の市民活動団体が検索できるデータベース「M ナビ」の運営と更新を行っています。
現在の更新登録団体数は 3200 団体です。



Ⅱ 県内中間支援団体の基盤強化 Ⅱ

県内の中間支援組織の人材育成や資金調達等、活動基盤強化につながる支援を行いました。

- Ⅰ NPO のための
第三者組織評価制度説明会 & 広報セミナー
- Ⅰ 三重県 NPO 中間支援組織スタッフのための
研修サポート制度
- Ⅰ 合同視察会
- Ⅰ オンラインでつながろう
Zoom 勉強会・参加 NPO 交流会
- Ⅰ NPO による新たな日常に即した活動を検討するワークショップ事業
「地域ワークショップ」

Ⅱ 県内中間支援団体の情報交換・連携交流 Ⅱ

各地域の NPO・市民活動団体の活動状況やニーズを把握し、支援プログラムを共有するため県内の中間支援団体間の情報交換、交流の機会をつくる事業を行いました。

- Ⅰ 市民活動センター・中間支援団体スタッフ研修交流会
- Ⅰ NPO のための 1 コイン会計相談会
- Ⅰ みえイーパーツリユース PC 寄贈プログラムへの参画

Ⅱ 全国の先進事例の調査・研究 Ⅱ

政府の NPO 施策や、専門性の高い全国レベルの中間支援団体の取組み等の情報収集や連携事業を行いました。

- Ⅰ SAVEJAPAN プロジェクトの実施
- Ⅰ 市民の伊勢志摩サミット 2 周年イベント
- Ⅰ 非営利組織のための
「第三者組織評価」制度説明会・助成金セミナー
- Ⅰ 東海三県・20 代～40 代の NPO/NGO スタッフ
働き方アンケート
- Ⅰ 岡山 NPO センター協働環境調査



Ⅱ 県外中間支援団体との連携 Ⅱ

近隣県の中間支援組織と連携し、課題の共有を図り、様々な事業を行いました。

- 東海市民社会ネットワーク研究会
～政策協働について考える～
- NPO/NGO バックオフィス基礎講座 in みえ
- 中部圏地域創造ファンド「東海ろうきん NPO 育成助成」
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による
影響実態把握のための緊急アンケート調査
- With コロナ時代の社会参加と雇用継続

Ⅱ みえ災害ボランティア支援センターの運営に関する業務 Ⅱ

- 2020 年度、2021 年度に「災害時に支え合う仕組みを作る事業」として県内 8 ケ所で意見交換会、県域ワークショップを行いました。
- みえ災害ボランティア支援センター幹事会に出席しました。

Ⅱ その他の取り組み Ⅱ

- 東海ろうきん「子どもの未来応援寄付金」
東海労働金庫からお預かりした寄付金が、三重県内で子ども関連の活動をしている団体へ寄付されます。

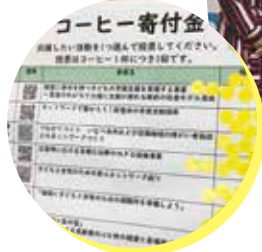
＼ 5 年間で 20 団体 170 万円寄贈しました ＼



Ⅱ コーヒー寄付金 Ⅱ

みえ市民活動ボランティアセンターでコーヒー・ペットボトル飲料等を購入すると、売上の一部が三重県内の市民活動団体に寄付されます。

＼ 5 年間で 13 団体 64 万円寄贈しました ＼



5 年間、多くの方々のご協力を得て様々な取り組みを実施することができました。

2022 年 4 月からもよろしくお願いいたします。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGs (エスディージーズ) の話

16 平和と公正を
すべての人に



当事者の声を聴こう、参加のありかた

2021年12月18日(土)に協創シンポジウム「市民の伊勢志摩サミット『提言書』の5年後の検証を通して 提言×協創 NPOは社会構造の変容をどう促すか」(※1)を開催しました。多様な分野のキーパーソン意見が交わされる中で、SDGs目標16のキーワードである「人々の参加と公正」の重要性が語られる場面がいくつもありました。今回は、協創シンポジウムでの発表からSDGs目標16に迫ります。

報告 災害分科会

被災者の声を届ける

「2016年に地区防災制度ができ、市民提案型の防災計画の策定が可能になった」「避難所ではまだ尊厳のある生活を営むことが難しい。高齢者や障がいのある方、乳幼児や子ども、妊婦さん、外国の方などの多様なニーズに対応した支援ができていない。」といった報告がありました。「もれなく、ぬけなく、ダブリなく」。そのような支援をするためには、当事者のニーズを把握し、届ける仕組みが不可欠であることが話されました。



ゲスト

阪本 真由美さん：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授
小山 真紀さん：岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授

岡野谷 純さん：NPO法人日本ファーストエイドソサエティ (JFAS) 代表理事
山本 康史さん：NPO法人みえ防災市民会議 議長

報告 移民・難民・多文化共生分科会

外国の人と地域で暮らす

「日本に暮らす外国人が右肩上がりが増えてきていること」「政府の骨太方針(2018)に外国人の受け入れ環境の整備と人権擁護、共生社会の実現などが明記されたこと」「日本語教育の推進に関する法律ができたこと」などここ数年の変化が語られました。「外国人が来ない地域の産業は衰退し、地域にとってマイナスになる。企業にとっても地域にとっても、多文化共生は必須となっている」。同じ地域に暮らす人が外国の人の「困りごと」を聴き、解決のために一緒に取り組むこと、外国の人の地域への参加を進めること、が重要な課題であると話されました。

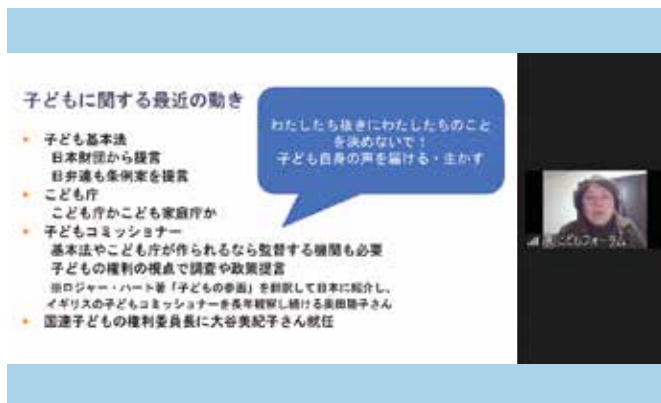


ゲスト

土井 佳彦さん：NPO法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事

こどもが参加する社会に

「こどもの声が軽視される社会である。生まれた時から尊厳をもつ一人の人間であることが理解されていない」。子どもの権利保障擁護に関する提言書を作成する際に子どもが参加する場を取り入れていることや、子どもの意見表明である「子どもアドボカシー」の重要性について紹介されました。現在、政府が設置を検討している「こども（家庭）庁」の動きについても、「当事者である子どもの参加を抜きに進めている」と指摘し、子どもの意見意志を聴く、子どもの声を活かす、それに尽きる」と話されました。



ゲスト 原 京子さん：こどもフォーラム 代表

分科会報告を受けて

中間支援組織で活躍されている3名のキーパーソンに、分科会報告を受けて、「今後、市民社会はどう取り組むか」についてお聞きしました。

通訳

野村 典博さん
NPO法人 ゑびNPOセンター 理事長

市民や分野、企業や行政の「つながり」に課題があります。どうつなげるか。そのためには「通訳」が必要です。通訳は単なるコーディネートではなく、相手の立場で考え、相互に調整する役割です。言葉や考え方の違いを理解しあい、NPOの立場で行政に意見をすることはなく、行政の計画を見極め、地域課題を解決するためにできることを探る。中間支援の重要な役割です。

参加のデザイン

山本 康史さん
NPO法人 みえ防災市民会議 議長

「当事者参加」をどう確保していくか、「参加のデザイン」をどうつくるのか、です。地域の声を聴く場、当事者が参加する場のつくりかたや、地域の声をバランスよく集める方法を丁寧に考えることが大切です。また、自分の限界を支援の限界にしないこと。自分にできないことを人に頼む、日頃からのバトンを渡しあえる場づくりが大切です。

当事者のアドボケイト

松井 真理子さん
NPO法人 みえNPOネットワークセンター 代表理事

誰が「リーダーシップ」をとるのか。誰が担うのか。そして、課題の共有だけではなく、いかに深堀をし、解決に向けての行動を生み出すか、です。当事者参加は決定的に重要です。行政の会議には、代表として選ばれた市民やNPOが参加します。多くの市民、NPOの一人です。NPOは当事者の方々のアドボケイトになり、多様なNPOのアドボケイトを中間支援組織が担うのです。



今回焦点を当てたSDGs目標16.7には「あらゆるレベルにおいて、対应的、包摂的、参加型、および代表的な意思決定を確保する。」と書かれています。ものごとを決めるときには、必要としていることに応え、とり残される人がないように、人々が参加もしくは代表者が参加する、ということです。「当事者の声を聴き、届ける」「参加の場を創りだす」。どの分野、どの課題においても必須であり、市民社会形成・強化において欠かすことができないプロセスです。

引用 | グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
<https://www.ungcjin.org/sdgs/goals/goal16.html>

※1…2016年に開催された「市民の伊勢志摩サミット」(※2)で作成された提言をもとに「災害」「移民・難民・多文化共生」「こども」分科会の報告を受け、5年間の変化、現状の課題を共有した。

※2…市民の伊勢志摩サミットとは

2016年G7伊勢志摩サミットを機会に市民社会から国際社会・日本政府に提言を届けることを目的に実施。15分野16の提言書を作成した。

参照…市民の伊勢志摩サミット提言書 <https://tokaicn.org/>



報告
1/25
(火)

グレードアップセミナー 2021

災害時中間支援組織12の役割



〈開催概要〉

日時 2022年1月25日(火) 13:30～16:30

会場 オンラインにて開催

講師 石原 達也さん
・災害時の中間支援組織の役割会議プロジェクトチーム
・NPO法人 岡山NPOセンター 代表理事

参加者 21名

NPO法人岡山NPOセンター代表理事の石原達也さんをゲストに迎え、「災害時中間支援組織12の役割」を開催しました。セミナーの前半の石原さんの講義では「災害時中間支援組織12の役割」や「連携のための7つのポイント」について、平成30年7月に岡山県で起きた豪雨災害の事例を具体的に交えながら、災害が起きた時の中間支援団体の役割と平時からNPOや行政など多様な団体がどのように関係性を築き協働を進めていくのかを学びました。

後半は石原さんの話を踏まえ、山本康史さん(NPO法人みえ防災市民会議 議長)、浦田宗昭(NPO法人みえNPOネットワークセンター副代表理事)の3名で三

重県でできていること・できていないことを整理しながら、災害時に想定される課題について意見交換、参加者との質疑応答を行いました。



報告
2/15
(火)

グレードアップセミナー 2021

市民活動がパワーを持つ方法

～コミュニティ・オーガナイズイング入門～



〈開催概要〉

日時 2022年2月15日(火) 14:00～16:00

会場 みえ県民交流センター

講師 松井 真理子
・NPO法人みえNPOネットワークセンター代表理事

参加者 9名

イギリスでさまざまな政策提言を成功に導いている「コミュニティ・オーガナイズイング」の手法を、マシュー・ボルトン著「社会はこうやって変える! コミュニティ・オーガナイズイング入門」を翻訳者の一人である松井真理子が、イギリスでの生活賃金に関する法制度を変える取り組み事例、市民活動のリーダーのあり方など本書のポイントを解説し、参加者と「政策提言をどのように実践していくか」などの意見交換をしました。



◀市民活動の実践論、組織論にご興味がある方に本書のご一読をおすすめします。

社会はこうやって変える!
コミュニティ・オーガナイズイング入門

マシュー・ボルトン著



みえ外国人相談サポートセンター「MieCo」では、 外国人住民のための相談を無料で受けています。

日常生活や仕事、病院の受診、コロナウイルスについての心配事など、
一人で悩まず、ご相談いただき、ひとつでも多くの悩みを一緒に考えていきましょう。

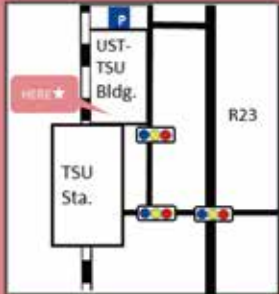
相談無料 そうだんむりょう
FREE CONSULTATION

みえこ
MieCo
Mie Consultation Center
for Foreign Residents

TEL **080-3300-8077**
<https://www.miefweb.org/mieco/>

にちようび きんようび
日曜日～金曜日
Sun. ~ Fri.
9:00 ~ 17:00
がいこくじんそうだん
みえ外国人相談サポートセンター

日本語 にほんご	がいこくじんのためのそうだん
英語 English	Consultation for Foreign Residents
ポルトガル語 Português	Consulta para residentes estrangeiros
スペイン語 Español	Recepción de Consultas para residentes extranjeros
フィリピン語 Filipino	Konsultasyon para sa mga dayuhan
中国語 中文	为外国人提供咨询
韓国語 한국어	외국인을 위한 상담
ベトナム語 Tiếng Việt Nam	Tư vấn dành cho người nước ngoài
ネパール語 नेपाली भाषा	बिदेशी नागरिकहरुको लागि परामर्श
インドネシア語 Bahasa Indonesia	Konsultasi bagi warga negara asing
タイ語 ภาษาไทย	ให้คำปรึกษาสำหรับชาวต่างชาติ



みえけんこくさいこうりゅうざいだん (みえふ)
公益財団法人 三重県国際交流財団 (MIEF)
Mie International Exchange Foundation
津市羽所町700番地 アスト津3F
Mie-ken Tsu-shi Hadokoro-cho 700
UST-TSU 3F
URL <http://www.mief.or.jp>



新着図書紹介



書籍名
著者

1
ひと目でわかる
実用手話辞典【第2版】
NPO 手話技能検定協会

2
寄付白書 2021
Giving Japan 2021
日本ファンドレイジング協会

3
伴走型支援
新しい支援と社会のカタチ
奥田 知志、原田 正樹

4
なぜか感じがいい人の
かわいい言い方
山崎 拓巳

5
裸足で逃げる
沖縄の夜の街の少女たち
上間 陽子

6
要領がよくない
と思いついて入る人のための
仕事術図鑑
F 太、小鳥遊

7
チームワーキング
ケースとデータで学ぶ
「最強チーム」のつくり方
中原 淳、田中 聡

8
無理ゲー社会
橘 玲

2次元コードから「新着図書」の
詳しい情報をご覧ください。



information

NPO相談講座を開催しました

【報告】



1/18、「はじめてみよう NPO」、「1 から学ぶ NPO 法人の設立方法」を開催しました。

前半では、NPO 法人みえ NPO ネットワークセンター代表理事松井眞理子が講師となり、NPO や市民活動の基礎について学びました。後半では、三重県 NPO 班職員が講師となり、三重県で NPO 法人を設立する際の手続きについて学びました。

2/8、「再確認！ NPO 法人の提出書類」講座を開催しました。

三重県 NPO 班職員を講師に、三重県の NPO 法人が所轄庁に提出する、定款変更・事業報告書・役員変更などの提出書類作成方法について学びました。

いずれも新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン講座となりました。

ユース事業でアンケートを行いました

【報告】



当センターの学習可能なスペースを利用する学生を対象に、6 分野（福祉・子ども・災害・人権、平和・環境・多文化）のボランティアについて「経験したことがある・経験してみたい・知らなかった」の 3 択でアンケートを実施しました。環境や福祉分野のボランティアは経験者が多く、多文化や子ども分野は経験してみたいという回答が多く寄せられました。

このアンケートの回答は今後の事業実施の際に参考にさせていただきます。

ご回答いただきました皆様、ありがとうございました。

WEBマガジンを発行します

【お知らせ】

いつも市民活動・ボランティアニュース「READER」をご愛読いただきありがとうございます。

2022 年度から市民活動・ボランティアニュース「READER」に代わり、新たに WEB マガジンを発行することとなりました。詳細については、みえ市民活動ボランティアセンター HP でご案内いたします。

みえ市民活動ボランティアセンター

〒514-0009 津市羽所町 700 アスト津 3 階

T E L 059-222-5995

MAIL center@mienpo.net

F A X 059-222-5971

H P <https://www.mienpo.net/>

最新情報を随時更新しています。
フォローよろしくお願いします！

Twitter



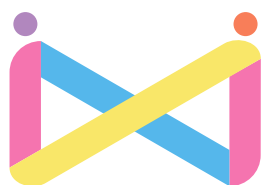
HP



Facebook



全ての
問い合わせ先



みえ市民活動ボラン



はじめに

みえ市民活動ボランティアセンターは、2001年にできたみえ県民交流センター内にある地域や分野を越えた市民活動・ボランティア活動のためのキーステーションです。

施設を利用するにあたって必要なルールを含め、利用する市民の手でつくってきました。

みえ県民交流センターは2009年から指定管理者制度を導入し、民間（NPO法人みえNPOネットワークセンター）による管理・運営に委ねられました。

団体登録

みえ市民活動ボランティアセンターを団体として利用する場合は、あらかじめ「団体登録（無料）」を行なって下さい。団体区分など、詳しくは下記をご確認ください。

団体区分		例
営 利	企 業	有限会社、株式会社など
非 営 利	行 政 非 営 利 法 人 ボ ラ ン テ ィ ア 市 民 活 動 団 体	行政、財団法人、社会福祉法人、社団法人、 学校法人、労働組合、生活共同組合、ボラ ンティア団体、市民活動団体、同好会、 NPO法人 など



センターの設置目的に合わない場合は、利用をお断りすることがあります。

- 営利を目的とするもの。（店のチラシや求人広告の印刷・配布、販売・勧誘など）
- 政治上の主義を推進また支持するもの。（政党が主催する催しのチラシの印刷・配布、特定の候補者の支持活動など）
- 宗教の教義・思想を広め、儀式行事を行い、信者を教化育成することを目的とするもの。（宗教の布教活動など）
- 個人の都合による目的のもの（年賀状の印刷など）
- 人権やプライバシーを侵害する恐れがあるもの。
- 施設、設備機器等を損傷する恐れのあるもの。
- その他、センターの設置目的である「県民の自主的で営利を目的としない社会貢献活動」に反すると認められるもの。
- 楽器、歌、ダンス、武術などの練習を目的とするもの。
- 他人に迷惑をおよぼす行為。

どんなふうに 使えるの？

市民活動に 関する相談

NPO法人格の取得やNPOの運営やボランティア活動に関してのご相談に応じます。

● NPO法人の認証に関しては…
三重県ダイバーシティ社会推進課NPO班
【問】059-222-5981
（月～金／9：00～17：00）

会議 講演会 展示会

会議や研修会のほか、展示会や講演会、講習会などの催し物会場として利用できます。



情報 収集

チラシ・ポスターコーナー、ホームページへのイベント情報掲載などを利用して、ボランティア募集、各種イベントなどに関する情報を集めることができます。

会報や チラシの 印刷など

印刷機や紙折り機、作業機を使用して、会報やチラシづくりなどに利用できます。コピー用紙は持込みか、受付で購入することもできます。

※機材の予約はできません。



ティアセンター

…を活用しよう!



施設を
予約
したい

みえ市民活動ボランティアセンターには予約して利用可能なスペースとして、交流スペース、交流スペースA、ミーティングルーム(A・B)、イベント情報コーナーがあります。
交流スペースAとはテーブル番号(6)～(8)を合わせて利用する場合を言います。

※すべて税込

団体区分	予約可能な期間	予約可能スペース	1時間あたりの料金
営利団体	6か月前から	交流スペースA	2,080円
		ミーティングルームA	1,040円
		ミーティングルームB	1,040円
非営利団体	6か月前から	交流スペース ※各テーブル	無料
		交流スペースA	310円
		ミーティングルームA	310円
		ミーティングルームB	310円



交流 スペース

①来訪、②電話、③メール、④FAX、⑤郵送いずれかの方法で予約して下さい。
・交流スペースA利用時のみ**使用申請書**が必要です。

ミーティング ルーム (A・B)

事前に使用申請書の提出が必要です。各部屋の定員は10名です。会議、勉強会、趣味の活動などは交流スペースをご利用ください。特別な事情がある場合は、ご相談に応じます。

イベント 情報 コーナー

①来訪、②メール、③FAX、④郵送いずれかの方法で予約して下さい。
20名以上の大規模なイベントは、「おしごと広場」が休みの**土・日・祝祭日のみ**使用できます。
・予約は6か月前から可能です。
・事前に**使用申請書**の提出が必要です。
・展示利用は**展示利用届**の提出が必要です。

申請書のダウンロードや施設利用の詳細は二次元コードよりご確認ください。



- 施設利用料金を減免する場合があります。 ※「施設利用料金減免申請書」が必要です。
- 予約のキャンセル・変更は必ずセンターまでご連絡ください。
- 有料利用で当日キャンセルの場合、使用料の100%を申し受けます。

● 印刷機・コピー用紙

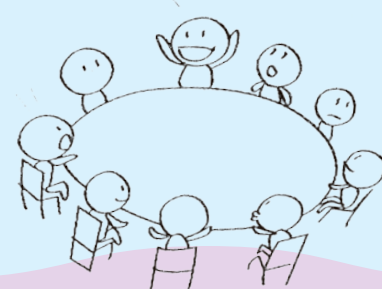
※すべて税込

印刷機	製 版	1 枚: 50 円
	インク代	10枚: 10 円
コピー用紙 (500 枚 単位)		A3サイズ: 770 円 B4サイズ: 560 円 A4サイズ: 410 円 B5サイズ: 300 円

● 印刷のときに役に立つ機材

※すべて税込

紙 折 り 機	使用料 1 回: 450 円
製 本 機	使用料 1 冊: 50 円 ※くみ製本をする のり代 1 冊: 10 円 ときの力バーはご 持参ください。
裁 断 機	無 料
カラーコピー機	白 黒 1 枚: 10 円 カラー 1 枚: 50 円





みえ市民活動ボランティアセンター

開館時間・休館日 変更のお知らせ

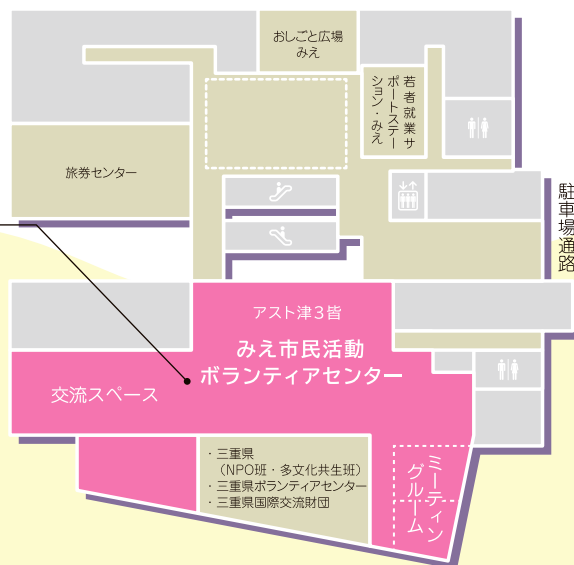
みえ市民活動ボランティアセンターは、2022年4月1日より開館時間・休館日を変更いたします。

変更対象施設

みえ市民活動ボランティアセンター

市民活動・NPO活動・ボランティア活動等を行う団体等にお使いいただく交流スペースやミーティングルーム等

※三重県（NPO班・多文化共生班）、三重県ボランティアセンター、三重県国際交流財団、旅券センター、おしごと広場みえ、若者就業サポートステーション・みえは対象外



開館時間の変更

平日 ▶ **現在** 9:00 ~ 22:00 ▶ **変更後** 9:30 ~ 21:00

土日祝 ▶ **現在** 9:00 ~ 22:00 ▶ **変更後** 9:00 ~ 18:00



休館日の変更

現在の「年末年始（12月29日～1月3日）」に**5月の連休の前半の休日2日間**が追加されます。

※2022年度は5月3日（火・祝）、4日（水・祝）が該当
※貸館内容に変更がある場合は当センター HP・SNS等でお知らせいたします。

5 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

5 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



お問い合わせ

みえ市民活動ボランティアセンター 〒514-0009 津市羽所町700番地アスト津3階

TEL 059-222-5995

FAX 059-222-5971

Mail center@mienpo.net

HP <https://www.mienpo.net/>

NPO寄付システム

自分で寄付先を選んで、
気軽に参加できる寄付システムです。

5つのポイント

ポイント
1

寄付先は自分で選びます

下記の「NPO寄付システム支援団体等一覧」
または、東海ろうきんホームページに掲載の
「NPO寄付システム支援団体等一覧」の中から、
寄付したい団体をお選びください。

ポイント
2

寄付金の行方が明確です

お申し込みいただくと、寄付先のNPO団体等から
年1回以上ニュースレター等の活動報告が届きます。
あなたの寄付金がどのように活かされたかが分かります。

ポイント
3

寄付は普通預金からの自動振替です

寄付金は、東海ろうきん普通預金口座からの
自動振替で、手間がかかりません。

ポイント
4

少額から気軽に参加できます

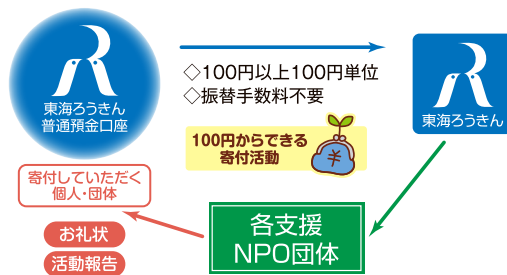
寄付額は毎月100円から(100円単位)
ご希望の金額で毎月無理なく寄付できます。

ポイント
5

振替手数料は不要です

口座振替の手数料はかかりません。

NPO寄付システムの流れ



お申し込み方法

- 「NPO寄付システム申込書」を最寄りの東海ろうきん本支店
窓口までご提出ください。お1人で複数のお申し込みも可能です。
(寄付先ごとに「申込書」が必要です。)
- 個人の方はもちろん労働組合等の団体単位での
お申し込みも可能です。
- 支援NPO団体の詳しい内容は
ホームページでご確認ください。

<https://tokai.rokin.or.jp/shakai/npo.html>



NPO寄付システム支援団体等一覧(三重県所在団体)

2021年4月現在

活動内容	団体名	所在地	団体紹介
福祉	特定非営利活動法人 あいあい	尾鷲市	介護サービスを行っています。誰もが生き生きと暮らせるよう支援させていただきます。
	認定特定非営利活動法人 ときわ会藍ちゃんの家	伊勢市	赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが安心して暮らせる地域になるよう活動しています。
	NPO法人 はあぶ工房Together	桑名市	自家栽培のハーブやみかんを製品化&販売し、障がいのある方々の自立と社会参加を支援しています。
	公益社団法人 みえ犯罪被害者総合支援センター	津市	犯罪の被害に遭われた方々から、相談を受けたり、付添い支援などを行っています。
環境	特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会	名張市	里山保全と障害者福祉を共に実現する活動を展開。健康で楽しい時間を過ごしています。
	認定NPO法人 森林の風	四日市市	森林環境保全活動団体です。人材育成には森林教育が重要です。共に山と森を守りましょう。
育児・教育	輝く瞳 Waraひろば	鈴鹿市	子供支援の団体です。親子体験教室、子供講師主体のイベント、マルシェ等を開催しています。
	NPO法人 太陽の家	桑名市	子ども食堂や校内カフェ、子育て家庭への食品配布会など、食と居場所の支援活動を行っています。
	特定非営利活動法人 どんぐりの会	津市	乳幼児と小学生の保育・地域の交通安全活動・障がい者の就労支援をおこなっています。
	不登校生のための高校設立発起人会	松阪市	高校設立後も経済的に恵まれない在校生の学びを支援する活動を続けています。
	特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター	松阪市	子どもが自分らしく育つ権利を保障し、地域と連携して子どもと子育て家庭を支えます。
文化・スポーツ事業	総合型地域スポーツクラブ 特定非営利活動法人 楠スポーツクラブ	四日市市	気軽に参加できるスポーツ環境を作り、健康づくり・まちづくりに貢献します。



助成金情報

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

みえ市民活動ボランティアセンター HPにて助成金などの情報を発信、更新しております。▶▶



コネックススポーツ振興財団 青少年スポーツ振興に関する助成金（後期）

- ① 2022年6月20日
- ② 青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行う団体
- ③ ジュニアスポーツ振興助成事業：1団体の上限100万円（事業予算の2分の1以内）、国際交流普及助成事業：1団体の上限500万円（事業予算の2分の1以内）

国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金 子どもの体験活動・読書活動助成 二次募集

- ① 2022年6月14日
- ② 子どもの健全な育成を図ることを目的に、体験活動・読書活動に取り組む団体
- ③ 1活動あたり（目安）：全国規模600万円、都道府県規模200万円、市区町村規模100万円

コメリ緑育成財団 コメリ緑資金ボランティア助成

- ① 2022年5月31日
- ② コメリ従業員が参加して行う、幼稚園・保育所・小中学校・特定施設の校内緑化活動など、公共性のある緑化活動に取り組む団体
- ③ 活動で使用する材料費等必要な額

第一生命保険株式会社 第74回 保健文化賞

- ① 2022年4月15日
- ② 保健衛生（関連する福祉等を含む）を実際に著しく向上させた、向上に著しく寄与する研究または発見をした団体あるいは個人
- ③ 団体200万円、個人100万円

ライオンズ日本財団 令和3年度助成

- ① 2022年6月30日
- ② 青少年健全育成、人道主義的奉仕事業及び救済支援事業、自然環境保護・社会環境改善に対するもの
- ③ 1件当たり10万円程度（案件により5～50万まで）

経済産業省 事業復活支援金

- ① 2022年5月31日
- ② 新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受ける中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者、NPO法人
- ③ 中小法人等上限250万円、個人事業者等上限50万円



特定非営利活動法人

（2021年11月10日～2022年2月9日認証分）

①法人名 ②主たる事務所の所在地 ③活動分野 ④認証年月日 ⑤代表者

- ① 特定非営利活動法人 学び場子ども食堂
- ② 度会郡南伊勢町斎田316番地84
- ③ 保健、子ども
- ④ 2021/11/11
- ⑤ 理事長 大下 武彦

- ① 特定非営利活動法人 T S U
- ② 津市小舟1081番地35
- ③ 学術、子ども
- ④ 2021/12/1
- ⑤ 理事 安藤 勇

- ① 特定非営利活動法人 あゆみ野
- ② 津市夢が丘一丁目6番地2
- ③ 保健、社会教育、学術、子ども、科学技術、職業能力、その他、障がい者の自立と共生社会、多文化共生社会
- ④ 2022/2/1
- ⑤ 理事長 小倉 由起子

- ① 特定非営利活動法人 伊勢鷺嶺里山再生プロジェクト
- ② 伊勢市上野町字東山427番2693
- ③ 観光の振興、農山漁村・中山間地域、学術、環境、地域安全
- ④ 2021/11/16
- ⑤ 理事長 信藤 卓也

- ① 特定非営利活動法人 白山文化・スポーツクラブ
- ② 津市白山町古市808番地
- ③ まちづくり、学術、子ども
- ④ 2021/12/17
- ⑤ 理事長 岡本 知順

- ① 特定非営利活動法人 日本福祉支援機構
- ② 津市高茶屋小森上野町字大新田1295番地2アアンA棟1C号
- ③ 保健、社会教育、国際、情報化社会、経済活動、職業能力、その他
- ④ 2021/11/16
- ⑤ 理事長 稲垣 潤一郎

- ① 特定非営利活動法人 日本 c h a 茶ちゃ
- ② 松阪市飯南町粥見627番地2
- ③ 社会教育、まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、環境、その他、多文化共生社会
- ④ 2021/12/23
- ⑤ 代表理事 松本 浩

READER はこちらにあります。

本誌掲載情報の転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

【地域の市民活動センター等】（津市）みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／三重大学／看護大学／三重短期大学／高田短期大学（桑名市）桑名市市民活動センター（いなべ市）いなべ市市民活動センター（東員町）とういんボランティア市民活動支援センター（四日市市）四日市市なやプラザ／四日市大学（亀山市）亀山市市民協働センター（鈴鹿市）鈴鹿大学／鈴鹿医療科学大学（松阪市）松阪市市民活動センター（伊勢市）いせ市民活動センター／皇學館大学（志摩市）阿児アリーナ／横山ビジターセンター（名張市）名張市市民活動支援センター／エコリゾート赤目の森／名張市立図書館／名張青年会議所／名張市総合福祉センター（伊賀市）伊賀市市民活動支援センター／伊賀市立図書館／伊賀青年会議所（尾鷲市）東紀州コミュニティデザイン（明和町）めいわ市民活動サポートセンター（南伊勢町）南伊勢町民文化会館（紀宝町）紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三十三銀行各店／東海労働金庫各店／県下JAバンク各店／メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関（地域防災総合事務所〔桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀〕地域活性化局〔南勢志摩、紀北、紀南〕）／三重県米町庁舎（情報公開窓口）／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／三重県立こころの健康センター／斎宮歴史博物館／MieMu（三重県総合博物館）／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／三重県立熊野古道センター／各市町役場／各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。